

緑区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）【総括表】

【達成状況（自己評価）の目安】 ◎：年度目標以上のものが達成できた ○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

◆基本方針別取組状況

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組みも含む）
	項目数	達成状況		
1 コミュニケーション（学び・継承・交流・ふれあい・社会参加）	8	◎	3	29 ・子育てサロン、朝のあいさつ運動、研修会等を地域や学校と交流しながら実施した。 ・自治会館等を利用しeスポーツなどを取り入れながらいきいきサロンや、ふれあいカフェを開催した。 ・障害者施設を訪問し学習会の開催や夏祭り等の行事を連携して実施した。 ・福祉教育等への協力として食育支援事業を実施した。 ・小学校にて児童ボランティア参加のもと福祉バザーを実施した。
		○	5	
		△		
		×		
2 緊急時の支援と対応（災害、防犯と防災、感染症）	2	◎		8 ・町内会を中心に地域で連携し避難訓練や避難所設営訓練、救助救命訓練及び研修会を実施した。 ・町内会単位で自主防災組織の連絡網の整備や防災備蓄品等の確認を行った。 ・民生委員が避難所運営委員会に参画し町内自治会と避難所情報を共有した。
		○	1	
		△	1	
		×		
3 身近な生活支援と連携（健康、見守り、介護・ボランティア）	6	◎	1	13 ・地域の協力を得ながらパトロールやゴミ出しの手伝い等を実施した。 ・独居高齢者等を見守っていくため、「気になる高齢者」への対象者登録を促したり、名刺型PRカードの配付を行った。 ・町内会や福祉施設等と連携しながら健康体操を実施した。 ・リハビリ専門職を招いた地域住民への健康指導を実施した。 ・スポーツ振興会との共催によりウォークラリーを開催した。 ・あんしんケアセンターが主催する地域ケア会議に参画した。
		○	5	
		△		
		×		
今年度の振り返り	16	◎	4	50 ・コロナ禍が終わり地域活動を再開していく中で、eスポーツの導入など新たな内容を取り込むことにより活動の盛り上がりが見られたところもあれば、参加者が頭打ちになっている活動なども見受けられた。 ・防災に関しては、幸いにも大きな災害が起ころなかったが、地域で継続して防災訓練や要支援者の救助等について検討を続けていく必要がある。
		○	11	
		△	1	
		×	0	

今後の課題と方針	高齢化により自主参加が難しくなっている活動もあり、参加者を集めるために活動内容や宣伝方法を検討していく必要がある。また、どのエリアにおいても協力者の確保、特に若い世代をどのように取り込んでいくかについては課題となっている。この点については即効性のある解決策はないと思われるが、若い世代に負担の無い範囲での協力を求めたり、子育て世代に歩み寄るといった視点で取り組んでいけるよう図っていきたい。			
----------	---	--	--	--

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	8月31日（土）	・令和5年度取組状況及び令和6年度計画の情報共有について ・地域での課題について
第2回	3月22日（土）	・地域での課題について ・広報誌「みどりのきずな」第42号について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第41号	4月3日（水）	発行部数：3,442部 主な配布先：窓口配布30部、町内自治会、区内小・中学校、公民館等

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

（誉田エリア）
誉田町1丁目自治会高齢者声掛け体験

誉田町1丁目自治会では、実際に認知症の方にあった際に、躊躇せずに声をかけられるよう地域づくりを行うと同時に、認知症の理解を深めることを目的として、あんしんケアセンター誉田と連携し、令和6年5月26日（日）、高齢者声掛け体験を実施した。
「どこシル伝言版」のQRコードを付けた認知症役の方に、参加者が声をかけ、QRコードの読み取りを体験した。また、千葉南警察署の協力により、体験会用の仮電話番号に通報する体験も行うことができた。
参加者からは、「実際に体験できて勉強になった」「警察に連絡をするハードルが下がった」という感想もいただいけ、体験をする意義があったと感じられた。



緑区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票

【達成状況の目安】

◎: 年度目標以上のものが達成できた場合

○: 年度目標が概ね達成できた場合

△: 年度目標の一部が達成できた場合

×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

―: 達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針	
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)				
菅田エリア	1 コミュニケー ション(学び・継 承・交流・ふれあ い・社会参加)	4 障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・ 情報提供	【菅田地区町内自治会連絡協議会】 障害者施設への協力と慰問、家庭の継り 施設だけではなく家庭にいる子連との関係、どうしたら 街に出てくれるか、民生委員の協力を得る。	【菅田地区町内自治会連絡協議会】 コロナの影響から露店等は止めており今後改めて一丁目や 二丁目の神社祭りや夏の盆踊りにも参加できるようにした い。 (振り返り(感想)) 連絡協議会役員が少し前に出て取り組むように持っていくべ きであった。次年度からは協議会もできるため。 令和6年度までは慰問等のみであったが、本年度は祭り等にも 参加してもらうよう積極的に働きかけていきたい。(但し菅 田二丁目神社の祭り等に露店等出した)	○	【菅田地区町内自治会連絡協議会】 千葉市でも障害福祉サービスにおける地域連絡会議 を積極的に推進されるので菅田地区町内自治会連絡 協議会としても前向きにやっていく。 各施設からの要望があつてから動くのではなく自ら動 いていく。理事会でも討議。施設の行事にも要望があ れば社協菅田と協力し合っていく。	【菅田地区町内自治会連絡協議会】 障がい者施設との地域連絡会議にいかに取り組む か、また若い人たちに協力してもらえるかも課題であ る。	
【人口・世帯数】 25,044人、11,540世帯 【町内自治会数】 25町内自治会 【高齢化率】 26.0% 【地域の特徴】 産業用地の開発に伴い住宅地の開発が進行。農村地域が広く田畑に囲まれた集落が 点在。			【菅田地区部会】 現在、地区部会で行っている障がい者施設への慰問 訪問、施設行事への参加等の中で、障がい者(児)・そ の家族の状況を把握し、必要としている情報や関係機 関を紹介する。 また、障がい者(児)を介護する家族が交流できる場や 地域住民と交流する機会を設け、その家族を支援する 体制づくりに努める。 ・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の 開催 ・障がい者施設の見学、慰問の実施 ・障がい者施設の行事手伝い及び参加 ・障がい者施設への慰問品の贈呈	【菅田地区部会】 6/22打合せ(12名参加) 年度事業計画の討議、確認 7/15打合せ(14名参加) ・障がい者施設の夏祭り行事のお手伝い及び参加について ・障がい者施設の見学、慰問の実施について ・障がい者、障がい者施設等に関する学習会の実施につい て ・今年度の慰問品贈呈先、慰問品について 8/3、8/4 夏祭りお手伝い(両日とも7人参加) 9/22打合せ、学習会(13名参加) ・夏祭りお手伝いの報告 ・施設見学先の施設名、日時の決定 ・慰問品贈呈先について ・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の開催 10/3障がい者施設訪問、施設状況確認訪問者(委員長、3 副委員長) 11/28障がい者施設の見学、慰問の実施(11名参加) 2/6慰問品贈呈(12名参加) 2グループに分けて4施設を訪問		【菅田地区部会】 ・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の 開催 ・障がい者施設の見学、慰問の実施 ・障がい者施設の行事手伝い及び参加 ・障がい者施設への慰問品の贈呈	【菅田地区部会】 障がい者(児)が「集う場の開設」については、緑区地 域福祉計画に沿った計画であり、今後の課題とする。	
		3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	【506地区民生委員児童委員協議会】 ふれあいカフェの開催 月1回(第3月曜日) 菅田団地自治会館	【506地区民生委員児童委員協議会】 毎月開催(年12回) 4/15、5/20、6/3、7/18、 8/5、9/2、10/7、11/18、 12/2、1/6、2/3、3/3 菅田団地自治会館	○	【506地区民生委員児童委員協議会】 毎月第3月曜日 菅田自治会館 コロナ対策を心がけながらスタッフと 協力して実施する。	【506地区民生委員児童委員協議会】	
			【507地区民生委員児童委員協議会】 施設での食事会開催協力 ・社協と連携し、高齢者施設に地域住民を 招いて食 事会を開催する「わくわく食事会」の実施に協力する。 ・いきいきサロンへの協力	【507地区民生委員児童委員協議会】 ・ふれあい食事サービス事業が無くなり、代わりに「わくわく食 事会」開設も出来なかった。 ・507地区民児協内のいきいきサロンは昨年度7地区で延べ 82回開催され、延べ参加人数720名、参加ボランティア246名 ・菅田ニュータウンでのいきいきサロン(笑みの会)が令和6年 度新規開設で動き出した。 ・コロナ前まで開催していた歌声サロンも令和7年度再開で 動き出した。 (振り返り(感想)) 新規のサロンも動き出しているが、従来のサロンでは新規 参加者が増えず参加者が頭打ちになってきた。		・いきいきサロンへの参加人数増加を目指す ・安定した定期開催に繋げていく	現在の参加者も足腰が弱くなって、自力参加が難しく なっている。	

緑区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票

【達成状況の目安】

◎: 年度目標以上のものが達成できた場合
○: 年度目標が概ね達成できた場合
△: 年度目標の一部が達成できた場合

×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合
―: 達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
平山エリア	1 コミュニケーション(学び・継承・交流・ふれあい・社会参加)	3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	【平山地区部会】 いきいきサロンの実施)	【平山地区部会】 ・いきいきサロン いきいきサロン 鎌取団地サロン(週1回) 鎌取スポーツサロン(週1回) 鎌取卓球サロン(週1回)	○	【平山地区部会】 ・いきいきサロン 鎌取団地サロン(週1回) 鎌取スポーツサロン(週1回) 鎌取卓球サロン(週1回) 鎌取民謡サロン(月1回)	【平山地区部会】 ・他の町内・自治会も実施出来ないか検討 ・サロンの宣伝方法の検討
【人口・世帯数】 7,656人、3,543世帯			【501地区民生委員児童委員協議会】 平山地区部会「ふれあいきいきサロン」への更なる支援活動を実施する。	【501地区民生委員児童委員協議会】 ふれあいきいきサロンの活動は、今年度は2回 eスポーツをした。地域高齢者が何十人も参加して盛り上がるとも良い活動に育ってきている。		【501地区民生委員児童委員協議会】 高齢者福祉委員会は、「ふれあいきいきサロン」をけやき園・緑苑の施設長も加わった11名で保健センターで実施し活動する。	【501地区民生委員児童委員協議会】 平山地区部会は、令和4年度からの発足であり、地域に合う計画を立てるための各専門部会は、模索しながら活動を始めている。
【町内自治会数】 10町内自治会		5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	【平山地区部会】 ・子育てサロン	【平山地区部会】 ・子育てサロン 保健福祉センターで(月1回)実施	○	【平山地区部会】 ・子育てサロン 保健福祉センター(月1回)	【平山地区部会】 ・継続した人員の確保 ・宣伝方法の検討
【高齢化率】 24.4%			【501地区民生委員児童委員協議会】 ・子育てサロンへの協力 ・平山地区部会「ふれあい子育てサロン」への更なる支援活動を実施する。	【501地区民生委員児童委員協議会】 ・平山地区部会と協働で子育てサロンへの協力・運営を行った。 (年10回4月～7月、9月～2月) ・主任児童委員が中心で民生委員・児童委員OGと地域協力員で実施し、子育てに関するアドバイスを行った。 ・新興住宅が増加する中で、ポスティング等のPRが行き届き、参加人数が増え父母同士の交流を深められている。		【501地区民生委員児童委員協議会】 ・主任児童委員が中心で民生委員・児童委員OGと地域協力員で実施し、子育てに関するアドバイスを行う。 (年10回4月～7月、9月～2月) ・平山地区部会と協働で子育てサロンの運営を行う。	【501地区民生委員児童委員協議会】 ・子育てサロンへの協力 ・新興住宅地が増え、参加者が広範囲から来るようになった。 ・乳児が増えたことによって母親や父親同士の情報交換が出来ようになったのでさらに交流を深めるように活動していきたい。
【地域の特徴】 古くからの里山が広がる地域。近年では大網街道沿いで住宅地の開発が進む。							

地区部会エリア	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
	3身近な生活支援と連携(健康、見守り、介護、ボランティア)	16 見守り活動の推進	【510地区民生委員児童委員協議会】 独居高齢者への見守り	【510地区民生委員児童委員協議会】 独居高齢者のみでなく、希望する高齢者にも名刺型PRカードの配布を行った。	○	【510地区民生委員児童委員協議会】 独居高齢者への見守りは、実態調査時に聞き取り対応を考える。	【510地区民生委員児童委員協議会】 独居高齢者が、自宅内で倒れた時に連絡の方法に不安がある。
			【土気地区町内自治会連絡協議会】 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、体に障害のある方などの見守りを希望する人に対して、地域住民による訪問・声掛け等を行います。 社会的孤立を防ぐため、挨拶運動など、住民同士が日常生活のなかで無理なく行える見守り活動を実施します。	【土気地区町内自治会連絡協議会】 ・令和6年度の新規募集を図るも、参入者なく、今年度も引き続き、見守り対象者:8名、見守り協力員:17名で、令和5年度と同様の活動を展開する。 ○あすみが丘第一自治会 ・一人住まいの方への見守り/パトロール「外部からの見守り」の実施。独自リスト37名 ○あすみが丘8丁目町内会 ・民生児童委員と協力し、子供の見守り、高齢者への定期的な声掛け訪問などの仕組み作りを検討した。 ・継続して8丁目いきいきサロンを開催してコミュニケーションを図った。 ○土気住宅自治会 ・納涼会や集会所清掃(1回/月)一斉清掃のイベントを行い住民同士の関係を深め、困りごとを気軽に打ち明けられる土壌づくりをする。 ○土気町内会 ・民生児童委員と協力し子供の見守り、高齢者への定期声掛け訪問の仕組みを構築する。 (振り返り) 町内会役員会で定期的な話し合いを行ったが具体的な方法が確立できていない。 ○土気団地自治会 ・民生児童委員と協力し、子どもの見守り、高齢者への定期的な声掛け訪問などの仕組み作りの検討 ○トーカン住宅土気自治会 ・独居高齢者や高齢者世帯への声掛けや、見守り訪問が十分に行えなかった。 ○美空台自治会 ・学童の登下校時における見守り積極的な挨拶 当自治会は子育て世帯が多いことから、見守り活動等の実施時に大人から積極的に挨拶を行う ・青色防犯パトロールの効果的な実施 (振り返り) 子どもたちの元気な声がする自治会なので、まず大人から積極的な挨拶が大事。子供たちも元気に挨拶をしてくれる。		【土気地区町内自治会連絡協議会】 ・民生児童委員と協力し、子供の見守り、高齢者への定期的な声掛け訪問などの仕組み作りを継続して検討する。 ○あすみが丘8丁目町内会 ・継続して8丁目いきいきサロンを開催してコミュニケーションを図る。 ○土気住宅自治会 ・当自治会は歴史も古いので、旧来の向こう3軒両隣精神を復活させ、組長、班長等にて定期的な訪問を具体化する。 ○土気団地自治会 ・今年度、本項目の活動の予定は無し ○美空台自治会 ・学童の登下校時における見守り積極的な挨拶 当自治会は子育て世帯が多いことから、見守り活動等の実施時に大人から積極的に挨拶を行う ・青色防犯パトロールの効果的な実施	○土気住宅自治会 ・人材の確保 ・他の団体と連携を図る。 ○土気団地自治会 ・自治会の退会者の増加を防ぐには、如何にすべきか
			【土気地区部会】 ・公的機関や専門家による地域住民への直接的指導、推進員と支援者の専門性を補う研修を通して確かな取組みができるようする。 ・活動会員だけでなく、多くの住民が参加できる事業により、交流の場を拡大するとともに心と身体の健康づくりができるようにする。	【土気地区部会】 ・各サロンで保健福祉センターにより年1回、あんしんケアセンターにより2年に1回指導を受ける。 リハビリ専門職及びいきいきセンターによる指導は希望により随時受ける。 ・健康講演会:保健福祉センター推奨講師、全住民対象だが講師の都合により中止 ・ボランティア研修会:シニアリーダーによる健康体操実施 ・昭和の森ウォークラリー:連協、スポーツ振興会との共催で全住民対象、恒例行事として11/23に実施。乳母車利用者から高齢者までが参加できるコース等の設定	○	【土気地区部会】 ・各公的機関の特性に基づいた指導によりサロン活動の充実を図るとともに、会員が日々の生活を見直しする機会とする。 ・健康講演会:保健福祉センター推奨講師による講演会、対象は全住民とする。 ・ボランティア研修会:シニアリーダーによる健康体操を研修し、高齢化が進んでいる中での各種活動に取り込んでいく。 ・昭和の森ウォークラリー:子供から大人200+50人の参加を想定し、多彩な活動と交流による「きずな」づくりに努める。	【土気地区部会】 ・各サロンで受けた指導による取組み状況を情報交換して各活動や個々の生活の改善を図り、一層の健康づくりに努める。 ・活動の自粛に伴い表面化したフレイルの防止には複数の側面がある。心身の健康づくりのために、本会の活動だけでなく他団体の活動への参加も勧め、各機能の低下の防止や治療に役立てられるようにする。
		18 地域の課題解決に向けた連携	【504・505・509・510地区民生委員児童委員協議会】 地域ケア会議への参加 地域ケア会議(見守りネットワーク土気会議)に参加し、地域の課題解決に向けた連携を行う。	【504・505・509・510地区民生委員児童委員協議会】 ・積極的に意見交換やアドバイスを述べた。 ・地域内の問題点・状況の共有、関係専門機関と連携強化を図ることができた。	○	【504・505・509・510地区民生委員児童委員協議会】 ・月1回の「見守りネットワーク会議」に参加し、地域の関係機関と連携し情報共有 ・非常に有意義な会議であり、継続参画していく。	【504・505・509・510地区民生委員児童委員協議会】 ・今後も継続参加し、地域のために情報交換し、共有し合いながら福祉関係の点で力を注ぎたい ・地域の足の問題等の声に応えるためにも利用の推進と啓蒙を継続していく ・高齢者が元気と健康で生活できる社会参加にこれからも力を注ぎたい
			【505地区民生委員児童委員協議会】 地区内の町内自治会との関係の緊密化 【510地区民生委員児童委員協議会】 高齢者への声かけ	【505地区民生委員児童委員協議会】 町内自治会長会議への参加が日程の都合で途中からできなかった。 【510地区民生委員児童委員協議会】 いきいきセンターやあんしんケアセンターへ繋ぐことができた。		【505地区民生委員児童委員協議会】 新たな協力のあり方を確率する。 【510地区民生委員児童委員協議会】 高齢者実態調査等で不安が残る高齢者には定期的に見守りし必要な支援機関へ繋いでいく。	【505地区民生委員児童委員協議会】 比較的継続性のある民生委員と頻繁に交代する町内自治会長との認識のズレが生じやすい点をどのように埋めていくか。 【510地区民生委員児童委員協議会】 定期的な声掛けをしていく。

緑区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票

【達成状況の目安】

◎: 年度目標以上のものが達成できた場合

○: 年度目標が概ね達成できた場合

△: 年度目標の一部が達成できた場合

×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

―: 達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針	
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)				
おゆみ野エリア	1 コミュニケー ション(学び・継 承・交流・ふれあ い・社会参加)	2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域 と学校との交流	【おゆみ野地区部会】 住民全体で「子どもは地域で育てる」という意識をもち、 子どもたちの集いの場の提供・情報提供、地域と学校 との交流等、青少年育成委員会やボランティア団体等 と連携しながら推進していく。	【おゆみ野地区部会】 1)子育てサロンの実施:計10回 ・R6.5.21親子の交流16名 ・R6.6.12親子あそび(保育士:小田先生の指導による→以下 同様)23名 ・R6.7.18親子の交流5名 ・R6.9.17親子の交流16名 ・R6.10.23親子あそび36名 ・R6.11.21親子の交流9名 ・R6.12.18親子あそび25名 ・R7.1.21親子の交流21名 ・R7.2.20親子の交流14名 (千葉市食育推進員による幼児食レシピ紹介、試食) ・R7.3.19親子あそび25名 (開催場所:おゆみ野公民館、鎌取コミュニティセンター、緑 保健福祉センター) 2)研修会の実施 ・R6.8.22「子どものすこやかな育ちのために～大人ができる ことを一緒に考えてみませんか?～」 場所:鎌取コミュニティセンター 講師:花澤先生(臨床心理士・公認心理師) 3)こども家庭福祉委員会 その他情報交換等の委員会を開催 4)地区小学校(おゆみ野南・小谷)「一年生と昔遊び」「お祭 り」への協力 (振り返り(感想)) 保育士や臨床心理士等の専門職に依頼することで実のある 活動となっている。 また、地域の学校との交流にも努めた。	○	【おゆみ野地区部会】 1)子育てサロンの実施:年10回予定 開催時間:午前10時～ ・鎌取コミュニティセンター R7.5.20、9.16、R8.1.20 ・おゆみ野公民館 R7.7.17、11.20、R8.2.19 ・緑保健福祉センター R7.6.11、10.22、12.10、R8.3.11 2)講演会・講習会・研修会の企画、参加 年1回程度、時期未定 3)こども家庭福祉委員会 その他情報交換等の委員会の開催 4)地区小学校「一年生と昔遊び」「お祭り」等への協力 をする。 5)緑保健福祉センター及び地域の子育て関連団体へ の支援協力と連携をする。	【おゆみ野地区部会】 共に活動する委員や協力者を増やす。	
【人口・世帯数】 47,808人、 20,327世帯			【502地区民生委員児童委員協議会】 「支え合う住みよい社会地域から」の推進 社協おゆみ野地区部会の中核的活動を担うと共に、そ の他地域関連団体組織との協働により、積極的な地域 福祉活動に努める。	【502地区民生委員児童委員協議会】 ○地域・学校行事への協力 ・朝のあいさつ運動 毎月1週間実施 ・小中学校校長との懇話会(6/11)および各校との交流会 (泉谷中:7/8、泉谷小:6/24、小谷小:6/18)を実施 ・児童・生徒と一緒に花植えを行った。(泉谷小:12/12、泉谷 中:12/3、小谷小:12/2) ・昔あそびの伝授 (小谷小:1/17) ・おゆみ野四季の道駅伝大会への協力(2/16) ○青少年育成委員会・地域運営委員会等への協力 ・遊歩道足跡ペイント再塗装への協力(6/22) ・おゆみ野探検ウォークラリーは、中止になった。 (振り返り(感想)) 民生委員として、地域との繋がりを持つ活動の重要な内容と 考える。 現在の繋がりをより深く強く結んでいく努力をしていきたい。		【502地区民生委員児童委員協議会】 ○地域・学校行事への協力 ・担当小中学校校門前で毎月1週間、朝のあいさつ運 動の実施 ・担当小中学校校長との懇話会及び交流会において 学校内の様子を把握することに努める。(7～9月) ・担当小中学校での「花いっぱい運動」における花植え 活動の実施(11～12月) ・おゆみ野地区小学校への昔あそびの伝授(11～1 月) ・おゆみ野四季の道駅伝大会への協力(2月) ○青少年育成委員会・地域運営委員会等の諸行事や 会議にも協力・参加する。 ・遊歩道足跡ペイント再塗装への協力(6月)	【502地区民生委員児童委員協議会】 ・積極的な地域の福祉活動を行うための地域部会活動 への協力体制、地域・学校行事への協力体制を、より 確立していくこと。	
【町内自治会数】 62町内自治会								
【高齢化率】 17.6%								
【地域の特徴】 鎌取駅を中心に商業地区と戸建て中心とし た閑静な住宅地域。緑区行政の中心地。								

地区部会エリア	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
	1 コミュニケーション(学び・継承・交流・ふれあい・社会参加)	2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	【508地区民生委員児童委員協議会】 有吉中学校、有吉小学校、扇田小学校を対象に活動を行っている。 あいさつ運動や花植え活動、ピオトープへの協力を行う。	【508地区民生委員児童委員協議会】 ・あいさつ運動は、有吉中学校において、4月～3月まで行った。 延べ55日、参加約500人。 ・花植えは、小・中学校の生徒と行い、5月は3校で23人、11月は25人。 ・ピオトープは扇田小で行い、延べ55人の参加。 (振り返り(感想)) 忙しい中、時間を作り参加できた。	○	【508地区民生委員児童委員協議会】 ・あいさつ運動の実施 有吉中学校の正門・裏門にて、4～3月まで実施。毎月(8月は除く)5日間行い、延べ50日、約500人参加予定 ・花植えの実施 5～6月、11月に有吉中、有吉小、扇田小にて実施。延べ約50人が参加予定 ・扇田小ピオトープへの協力 地域の人達と協力し、ピオトープの管理を行う。参加延べ45人 ・小中学生の学習支援と子ども食堂の実施。 学習支援は毎週木曜日、子ども食堂は月1回、第3木曜日	【508地区民生委員児童委員協議会】 ・あいさつ運動、花植えは参加人数を増やすようにする。 ・学習支援は、地域ボランティアの人たちの協力を得て実施。 ・子ども食堂は緑区の地域活性化事業の支援を得て、早く皆様に知ってもらい食堂に足を運んでもらう。
		5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	【おゆみ野地区部会】 (再掲) 1)子育てサロンの実施:計10回 ・R6.5.21親子の交流16名 ・R6.6.12親子あそび(保育士:小田先生の指導による→以下同様)23名 ・R6.7.18親子の交流5名 ・R6.9.17親子の交流16名 ・R6.10.23親子あそび36名 ・R6.11.21親子の交流9名 ・R6.12.18親子あそび25名 ・R7.1.21親子の交流21名 ・R7.2.20親子の交流14名 (千葉市食育推進員による幼児食レシピ紹介、試食) ・R7.3.19親子あそび25名 (開催場所:おゆみ野公民館、鎌取コミュニティセンター、緑保健福祉センター) 2)研修会の実施 ・R6.8.22「子どものすこやかな育ちのために～大人ができることを一緒に考えてみませんか?～」 場所:鎌取コミュニティセンター 講師:花澤先生(臨床心理士・公認心理師) (振り返り(感想)) 保育士や臨床心理士等の専門職に依頼することで実のある活動となっている。 孤立しない子育てができるようなアドバイスを心掛けた。	【おゆみ野地区部会】 (再掲) 1)子育てサロンの実施:年10回予定 開催時間:午前10時～ ・鎌取コミュニティセンター R7.5.20、9.16、R8.1.20 ・おゆみ野公民館 R7.7.17、11.20、R8.2.19 ・緑保健福祉センター R7.6.11、10.22、12.10、R8.3.11 2)講演会・講習会・研修会の企画、参加 年1回程度、時期未定	◎	【おゆみ野地区部会】 (再掲) 1)子育てサロンの実施:年10回予定 開催時間:午前10時～ ・鎌取コミュニティセンター R7.5.20、9.16、R8.1.20 ・おゆみ野公民館 R7.7.17、11.20、R8.2.19 ・緑保健福祉センター R7.6.11、10.22、12.10、R8.3.11 2)講演会・講習会・研修会の企画、参加 年1回程度、時期未定	【おゆみ野地区部会】 共に活動する委員や協力者を増やす。
			【502地区民生委員児童委員協議会】 ・地域部会への協力 子育てサロン年10回、部会の委員として活動し、子育て中の親子が集う場の提供に協力	【502地区民生委員児童委員協議会】 子育てサロン10回開催(5/21、6/12、7/18、9/17、10/23、11/21、12/18、1/21、2/20、3/19)		【502地区民生委員児童委員協議会】 ・地域部会への協力 子育てサロン年10回、子育て中の親子が集う場の提供に協力。	【502地区民生委員児童委員協議会】 積極的な地域の福祉活動を行うための地域部会活動への協力体制、地域・学校行事への協力体制を、より確立していくこと。
			【511地区民生委員児童委員協議会】 地域部会への協力 ・子育てサロン10回	【511地区民生委員児童委員協議会】 子育てサロン 10回開催・研修会		【511地区民生委員児童委員協議会】 地区部会への協力 地区部会の委員として高齢者・子ども家庭が集う場の提供に協力し、地域全体が共に支え合えるまちづくりをめざしていく。	【511地区民生委員児童委員協議会】 ・現在、担い手となっている民生委員の高齢化に伴い、新しい担い手の確保が必要である。(福祉委員を増やしていく) ・地域住民同士の交流の場の提供・情報を共有する。 ・参加者の募集チラシを配布 ・参加者に企画側に回ってもらい、やりがいを感じてもらう。

地区部会エリア	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
	2 緊急時の支援 と対応(災害、防 犯と防災、感染 症)	12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	【おゆみ野地区町内自治会連絡協議会】 地域での防災活動	【おゆみ野地区町内自治会連絡協議会】 各地区九都県市避難所訓練 令和6年8月25日実施 (振り返り(感想)) 年々参加者が多くなっている。	○	【おゆみ野地区町内自治会連絡協議会】 各地区九都県市避難所訓練 ・イオンモール幕張 令和7年8月31日実施予定 ・地域 令和7年8月24日実施予定	
			【502地区民生委員児童委員協議会】 「災害時一人も見逃さない運動」の推進 ・高齢者実態調査、避難行動要支援者名簿、年末の重度心身障害児家庭慰問金配布などの資料を元に取り組み、安全で安心なまちづくりに努める。 ・避難所運営委員会への参画により、災害時の避難所の運営について検討する。	【502地区民生委員児童委員協議会】 ・高齢者実態調査により、高齢者の生活状況を確認することが出来た。また、高齢者や災害時要支援者の最新情報の把握に努めた。 ・令和6年度も、担当地区での台風・地震などの被害はなく、災害対応では特段の活動を必要としない1年であった。 ・避難所運営委員会の会議に積極的に参加した。 (振り返り(感想)) 幸いにも令和6年度は大きな被害を受ける事が無かった。が、今後起こりうる大災害を想定して、防災に対する意識をより高めていく必要があると考える。		【502地区民生委員児童委員協議会】 ・日常の見守り活動などにより、高齢者や災害時要支援者の最新情報の把握に努める。 ・台風・地震などの災害時は、安全確認や被害状況の把握、情報伝達を行う。 ・避難所運営委員会の会議参加により、災害時における避難所の運営について地区ぐるみで検討する。	【502地区民生委員児童委員協議会】 今後起こりうる大地震・大雨の被害などに対する避難支援体制の強化に向けて、自治会と協力し、具体的な体制作りが必要である。
			【511地区民生委員児童委員協議会】 ・避難所運営委員会に参画・協働 ・避難行動支援者への支援の強化・自治会との連携(サポータ)	【511地区民生委員児童委員協議会】 【避難所運営委員会に運営委員として参画・協働】 ●おゆみ野南小学校(7回) 4/21(日)、6/23(日)、7/13(土)、8/25(日)、10/12(土)、12/7(土)、2/22(土) 11自治会・施設管理者・民生委員5名 内容:避難所開設・運営DVD鑑賞、HUG等の勉強会・備蓄品倉庫確認・会議・避難所開設訓練(九都県市合同)実施・備蓄品棚卸 等 ●おゆみ野南中学校 5回 5/11(土)、7/20(土)、9/28(土)、10/27(日)、2/15(土) 7自治会・施設管理者・民生委員3名 内容:研修会・備蓄品棚卸・会議・避難所開設訓練実施 等 ●金沢小学校 4回 6/1(土)、8/25(日)、10/19(土)、2/8(土) 3自治会 施設管理者・民生委員4名 内容 研修会・勉強会・南小避難所開設訓練見学・避難所開設訓練(夜)等 振り返り(感想)) ※各避難所運営委員会に参加し、自治会の方々と連携し、災害時の対応等学び、開設訓練を通して発災時の確認が出来た。 ※自治会の方々と連携強化に努めた。 ※3つの避難所の情報を共有できた。		【511地区民生委員児童委員協議会】 【避難所運営委員会に運営委員として参画・協働】 ●おゆみ野南小学校 7回 4/21、6/23、7/13、8/25、10/12、12/7、2/22 11自治会・施設管理者・民生委員5名 内容:避難所開設・運営DVD鑑賞研修会・HUG等の勉強会・備蓄品倉庫確認・会議・避難所開設訓練(九都県市合同)・備蓄品棚卸 等 ●おゆみ野南中学校 数回 6/28(土) アリーナ工事、備蓄倉庫増設予定の為、開催日は未定 7自治会・施設管理者・民生委員4名 内容 未定 ●金沢小学校 数回 5/24(土)・数回予定 3自治会 施設管理者・民生委員4名 内容:研修会・勉強会・南小避難所開設訓練見学・避難所開設訓練・備蓄品棚卸 等 ※定例会時にて3カ所の避難所運営委員会の現状把握と情報を交換しあい共有する。 ※民生委員が保有する名簿に掲載されている方の優先順位づけ。	【511地区民生委員児童委員協議会】 ・避難行動要支援者へのサポート体制の強化。 ・自治会と連携し平常時からの情報収集や具体的な支援体制の構築。 ・防災知識の普及啓発に努めていく。 (他団体等の研修会に積極的に参加) ・災害に関し、千葉市の最新情報の把握に努める。 ・避難行動要支援名簿を有効に活用
			【おゆみ野地区部会】 健康を保持する活動を保健福祉センター・あんしんケアセンター及び地域の医療機関等の協力を得て、地域の集会やイベントの機会を利用して実施する。 ラジオ体操やシニアリーダー体操、健康ウォーキング等への積極的に参加する仕組みづくりを推進し、実施する。	【おゆみ野地区部会】 1)地区部会主催事業(委員交流会)→「健康テレビゲーム体験会」開催 ・委員の他、ふれあい・いきいきサロン(小規模含む)参加者にも声を掛け、いきいきプラザ・いきいきセンターの協力により、リズムゲーム、パズルゲーム、ボーリングの3種類のゲーム機を用いて行った。 2)各委員会の活動の中で、保健福祉センター・あんしんケアセンター並びに地域医療関係等の協力を得て、講演や訪問などを具体的に計画した。 (振り返り(感想)) いきいきプラザ・いきいきセンター等を利用することで専門的な取り組みが実現できた。	◎	【おゆみ野地区部会】 1)地区部会主催事業(委員交流会) ・日常生活における地域の諸問題などに関連した講演会・映画上映会・レクリエーション等を実施し、委員及び地域住民との交流を深め情報を共有する。 2)各委員会の活動の中で、保健福祉センター・あんしんケアセンター並びに地域医療関係等の協力を得て、講演や訪問などを具体的に計画する。	【おゆみ野地区部会】 共に活動する委員や協力者を増やす。
	3 身近な生活支援(見守り・助け合い)	17 健康づくり支援					

緑区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和6年度)個票

【達成状況の目安】

◎: 年度目標以上のものが達成できた場合

○: 年度目標が概ね達成できた場合

△: 年度目標の一部が達成できた場合

×: 年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった場合

―: 達成状況の評価をしない、又は評価が困難である場合

地区部会エリア	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度		達成 状況	令和7年度 目標又は予定	今後の課題と方針
			目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
椎名エリア	1 コミュニケー ション(学び・継 承・交流・ふれあ い・社会参加)	2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域 と学校との交流	【椎名地区部会】 ・小学校の児童に、地域での助け合い、ボランティア精 神の育成 ・小学校の児童に、地域での福祉の役割や福祉に対し ての認識を高める授業の実践、SDGsの授業を通して 環境への認識や行動力を高める。 ・地区の特性を生かした食育教育を体験させる。 ・地域の伝統文化を継承する。	【椎名地区部会】 ・福祉バザーに小学生が参加 ・福祉出前授業 4年生50名 10/16 ・SDGsの授業 6年生30名、10/18 ・5年生40名 育苗観察4/18、田植え体験5/11、稲刈り9 /12、感謝祭2/21 ・羯鼓舞の発表12月 200名以上参加 ・地域の特色を生かした支援の確立	◎	【椎名地区部会】 ・福祉バザーに小学生が参加 ・福祉出前授業 4年生30名 10月 ・SDGsの授業 6年生30名、10月 ・5年生 育苗観察4/15、田植え体験5月、稲刈り9月、 感謝祭10月 ・羯鼓舞の発表12月 全校児童、保護者200名以上参 加 ・地域の特色を生かした支援の確立	【椎名地区部会】 ・学校との共通理解が必要
【人口・世帯数】 5,162人、 2,512世帯 【町内自治会数】 18町内自治会 【高齢化率】 24.1% 【地域の特徴】 自然豊かな農村地域で、地域には区画され た田園が広がり、集合住宅地はあまりない。			【503地区民生委員児童委員協議会】 福祉教育等への協力 椎名地区部会やその他関係団体と連携し、福祉出前 授業や食育支援事業を実施	【503地区民生委員児童委員協議会】 ・椎名小学校4年生(40名)を対象とした福祉出前授業 ・椎名小学校5年生(36名)を対象とした食育支援授業 (振り返り(感想)) 食育支援授業では、種まき作業の見学、田んぼに入って田 植え、秋の稲刈り等、実際作業を体験 ※生徒さんの喚声が嬉しそう		【503地区民生委員児童委員協議会】 ・椎名小学校4年生(35名)対象の福祉出前授業 ・椎名小学校5年生(37名)対象の食育支援授業 (予定内容は昨年と同様)	【503地区民生委員児童委員協議会】 ・福祉の分野は広いので、いろいろ内容を検討して専 門職の方の協力を得て継続したい ・食育支援授業に関しては、携わるメンバーの高齢化 や協力者の確保に懸念がある
		6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文 化の伝承	【椎名地区部会】 コミ想による福祉バザーの実施 地域住民のふれあい事業	【椎名地区部会】 1/26(日) 椎名小学校 13時～15時 10テーブル／児童ボランティア参加 社協理事、町内会長、関係団体、ボランティア 売上約6.6万円 民生委員高齢者活動支援2万円 地区活動費4万円 参加者300人	◎	【椎名地区部会】 1/25(日) 椎名小学校 13時～15時 10テーブル／児童ボランティア参加 社協理事、町内会長、関係団体、ボランティア 地域産物の提供を期待 参加人数300人を希望／パンフレットの配布	【椎名地区部会】 ・福祉教育の一環として小学生の体験教育の場とした い
	3 身近な生活支 援(見守り・助け 合い)	17 健康づくり支援	【椎名地区部会】 健康講座の開催、食事サービス時の健康相談の実 施、ウォーキングの推進	【椎名地区部会】 ・健康体操の会を各町内で実施 20名参加 ・食事サービス時健康体操の実施 20名	○	【椎名地区部会】 ・健康体操の会を各町内で実施 20名参加 ・食事サービス時健康体操の実施 20名	【椎名地区部会】 地域の散歩者の支援
		18 地域の課題解決に向けた連携	【椎名地区部会】 公民館運営及び改築に伴う要望を協議し要望書を提 出する	【椎名地区部会】 ・隔月、関係団体による話し合い実施 ・市／区行政機関との話し合い開催 20名	○	【椎名地区部会】 隔月、関係団体による話し合い実施 市／区行政機関との話し合い開催 20名	
			【椎名地区町内自治会連絡協議会】 公民館新設に向けた協議 椎名小学校避難所対策(雨漏れ箇所の整備)	【椎名地区町内自治会連絡協議会】 地域関係団体で「椎名公民館新築委員会」を組織し、活動し た。 ・市長に全与党と要望書提出 令和6年8月27日 ・住民説明会開催 令和6年12月25日 建設委員会で打合せ 市と継続協議中 ・小学校状況聞き取り ・緑土木事務所と協議		【椎名地区町内自治会連絡協議会】 ・学習振興課と協議、受講 公民館内設備 ・防災対策課と協議 他地区との連携	【椎名地区町内自治会連絡協議会】 ・公民館間取り検討 ・高効率化 ・避難所としての公民館検討 駐車場確保
			<椎名地区町内自治会> 椎名小学校横の緊急車両用道路陥没				
			【503地区民生委員児童委員協議会】 地域福祉活動団体との連携 地域の様々な行事に協力を行う	【503地区民生委員児童委員協議会】 ・社協地区部会常任理事会(毎月)に出席し、意見交換する ・歳末独居高齢者宅の訪問 ・椎名地区合同敬老会(9月) バザー(1月) (振り返り(感想)) ・地区部会での意見交換や会合は重要である ・敬老会や高齢者宅の訪問は、元気な姿、顔を拝見する喜び あり		【503地区民生委員児童委員協議会】 ・社協地区部会常任理事会(毎月)への出席 ・歳末独居高齢者宅の訪問 ・椎名地区合同敬老会(9月) 米寿・金婚者の記念写真撮影(11月) ・椎名地区福祉バザー(1月)	【503地区民生委員児童委員協議会】 ・事業に携わるメンバーの高齢化が進んでいることか ら、協力者の確保に懸念がある。